

米コロラド州高校生がホームステイ



剣道の体験で防具を着ける米国の高校生—県立佐世保南高

日本文化は楽しい 佐世保南高で剣道など体験

【佐世保】米国コロラド州立ベアクリーク、スモークキーヒル両高の生徒ら約三十人が十一日、佐世保市日宇町の県立佐世保南高（藤原善行校長、八百十九人）を訪れ、授業に参加するなどした。特色ある教育活動の一環で南高の文理混合コースの生徒が今春、米国に短期留学した際、両校などを訪れたのがきっかけ。日本文化を学ぶことなどを目的に、九日から四泊五日の日程で佐世保

市に滞在。南高生宅などにホームステイしている。

十一日は一年生の体育の授業に参加したほか、牛井やみそ汁を作って食べたり書道にも挑戦。剣道の体験では南高の濱口嘉洋教諭（三巴）の指導で、実際に防具を着けて基本打ちなどをした。

ス高のケイスリン・スイナーさん（二）は「竹刀を持って剣道を体験したのが楽しかった」、べ高のシャノン・サビノさん（二）は「授業を参観した。全部日本語なので難しかったが良い経験になった」と話した。

佐世保をたった後は長崎市や島原市などにも滞在する予定。